

第15回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 優秀賞

鹿児島情報高等学校 3年 下野 陽向子 訳

ゾウのいるしま

アーノルドは うみを たびする ふなのりゾウ。

うみは アーノルドのおともだち ところがあるひ うみが おおあばれ、アーノルドのふねを こわして しずめてしまいます。

でもだいじょうぶ！ アーノルドには ながいおはなが あります。まるで シュノーケルみたい。

ながいじかんがたって、アーノルドは ちいさなしまに つきました。

ひとりぼっちのアーノルド、ずっとむかしの ふなのりの うたを おもいだしました。

「ひとり ひとり ただひとり、おおうなばらに ただひとり」

ラッキーなアーノルド！ゾウのおはなは トランペットにだって なります。「パオーン パオーン パオーン」「どうして おはなを ならしているの？」さかなくんが アーノルドに ききました。

「SOS(エス オー エス)さ。」アーノルドは こたえます。「たすけを よんでいるんだ。」ところが まっても まっても たすけは やってきません。

もういちど しまの まわりを よくみてみよう。すると、せんちょうの ぼうしが ながれてきました。

アーノルドが せんちょうのぼうしを かぶったとたん、とおくの うみの はしっこに ちいさな ふねを みつけました。

やってきたのは ねずみさんでした。

ついに たすけが やってきた！

だいしっぱいのアーノルド、どうにかしようといっしょうけんめい がんばります。

アーノルドは ふなのりゾウ、ロープむすびは おてのものです。

しばらくすると、としをとった ふなのりいぬが やってきました。

アーノルドは そっと やさしく おじいさんの ふねに のりました。

あら、たいへん！ ふねに のるのは またしっぱいです。

ねずみさんたちの ちからを かりて アーノルドは しまをおおきくする さぎょうを はじめます。

つぎのひのあさ、ぎよせんが ぜんそくりよくで やってきました。

ぎよせんは ただいま こしょうちゅう、だいさんじに なってしまいました。

でも だいじょうぶ！ みんな ぶじに しまにもどることができました。

アーノルドは あれも これも ぜんぶ つかって さぎょうします。

ぎんいろの つぎの ひかりに てらされて アーノルドたちは おどります。

それから ひとばんじゅう クジラの うたを うたいました。

アーノルドたちの すてきな うたは すぐに みんなに ひろまりました。

そして みんな ゾウのいるしまに むかいます。

アーノルドは だいかんげい。「いつでも おいで、ばしょには こまらないよ。」

ところがあるひ、そらは まっくら、かぜは ビュウ ビュウ、うみは ごきげんななめみた
い、、、

みんなが アーノルドを みています。

おうちにかえるじかんになったのかな？

「みんないかないで」アーノルドはいいました。「ぼく、いいアイデアがあるんだ。」